

# 経営比較分析表（令和4年度決算）

福井県 若狭町

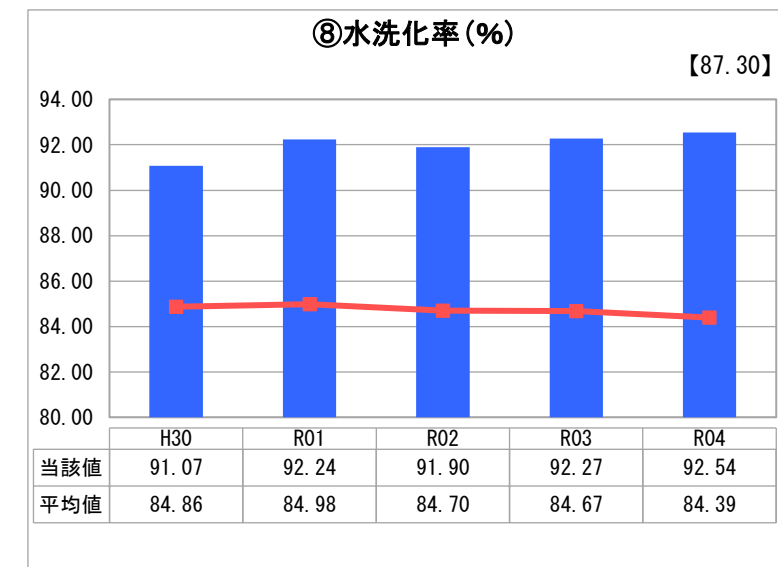
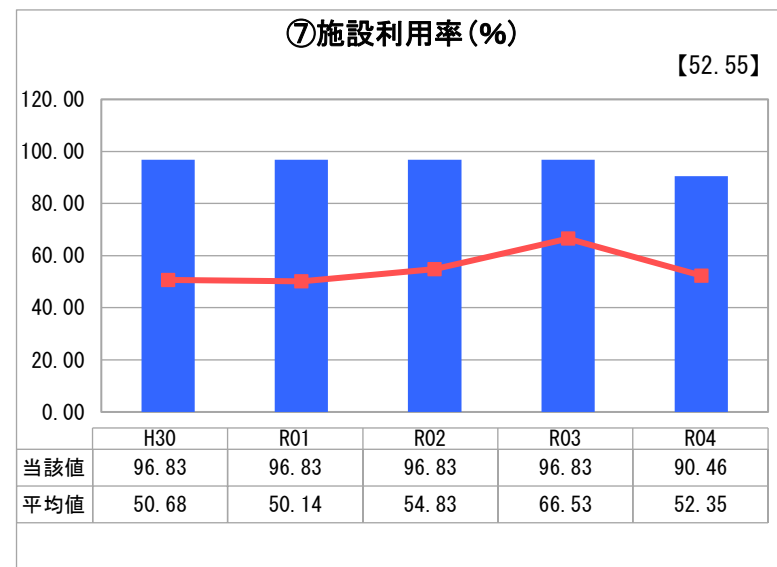
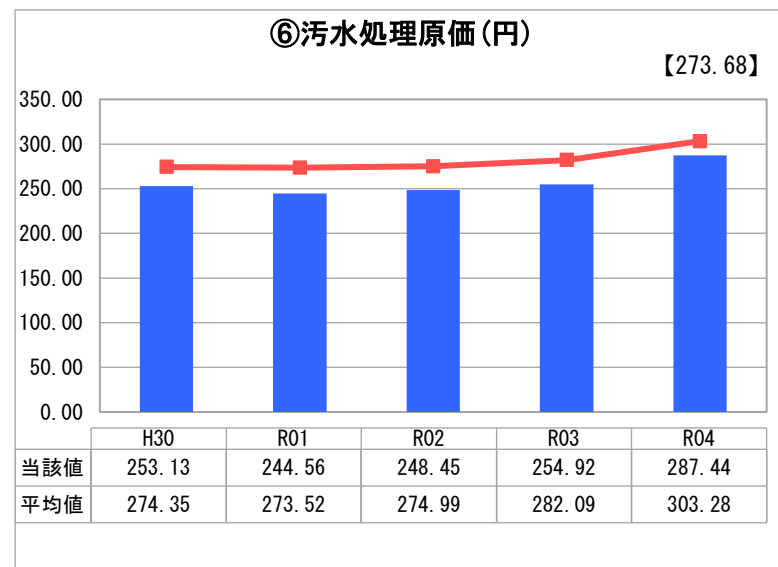
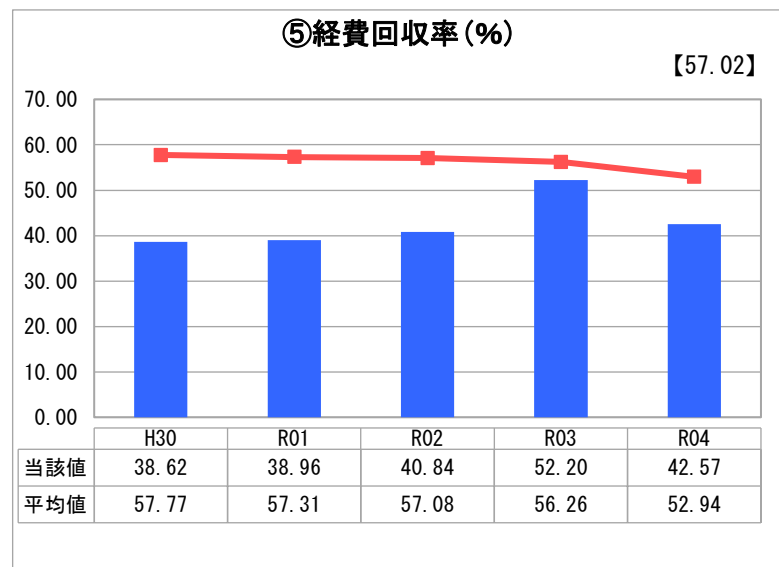
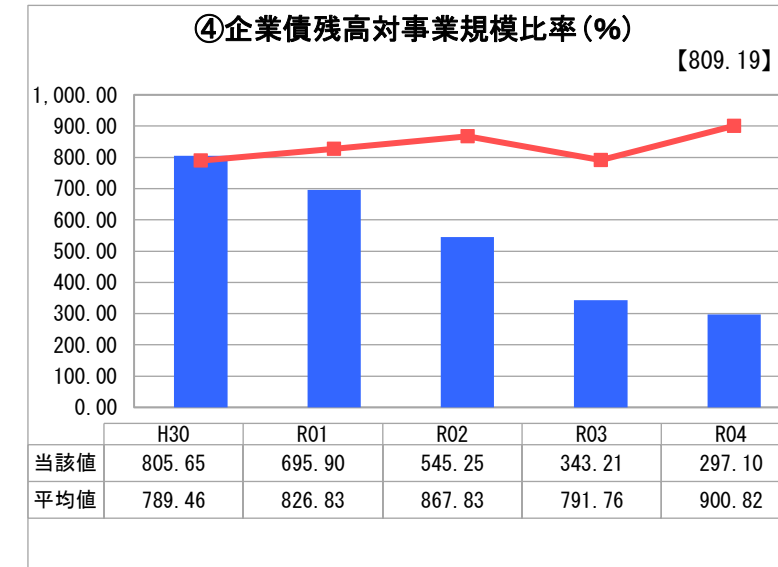
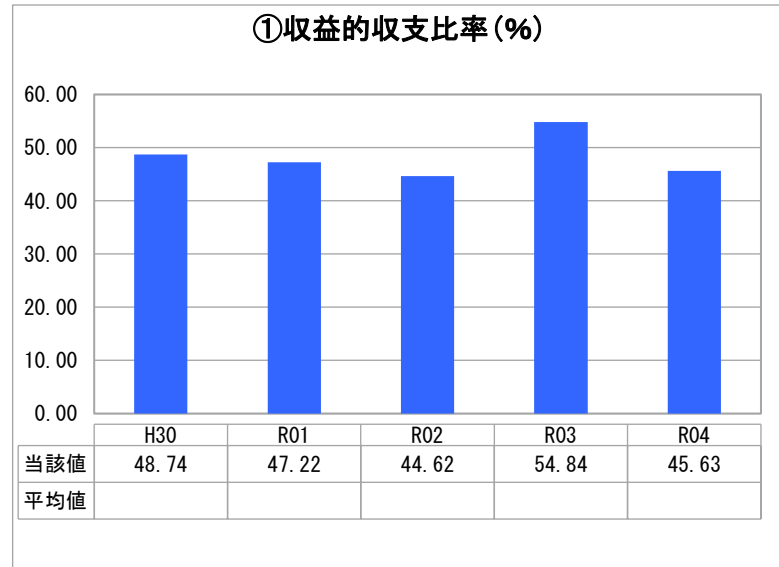
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m <sup>3</sup> 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	54.13	100.00	5,005

人口(人)	面積(km <sup>2</sup> )	人口密度(人/km <sup>2</sup> )
13,870	178.49	77.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km <sup>2</sup> )	処理区域内人口密度(人/km <sup>2</sup> )
7,443	3.36	2,215.18

**グラフ凡例**

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和4年度全国平均

## 1. 経営の健全性・効率性



## 分析欄

### 1. 経営の健全性・効率性について

①収益的収支比率について  
45.63%と100%を大幅に下回っている。これは、一般会計繰入金に依存していることが要因である。令和3年度4月より料金改定を行ったことで、令和3年度は約10%上昇したが、令和4年度は令和5年4月より法適用会計へ移行することに伴い打切り決算であったため、下水道使用料の減により約9%低下しているが、令和5年度には令和3年度の水準に戻る予定である。今後は施設の統合を進め、維持管理経費の削減に努める等、比率の上昇を目指す。

④企業債残高対事業規模比率について  
起債償還のピークが過ぎ、数年は減少傾向になると思われる。しかし、今後は施設の大規模更新および統合を予定しており、再び企業債の増額が予想される。

⑤経費回収率について  
42.57%と100%を大幅に下回っている。類似団体と比較して低い数値であり、今後は回収率が低下することが無いよう、経営の健全化に努めていく。

⑥汚水処理原価について  
機器の物価高騰に伴い微増したが、類似団体と比べると安価である。

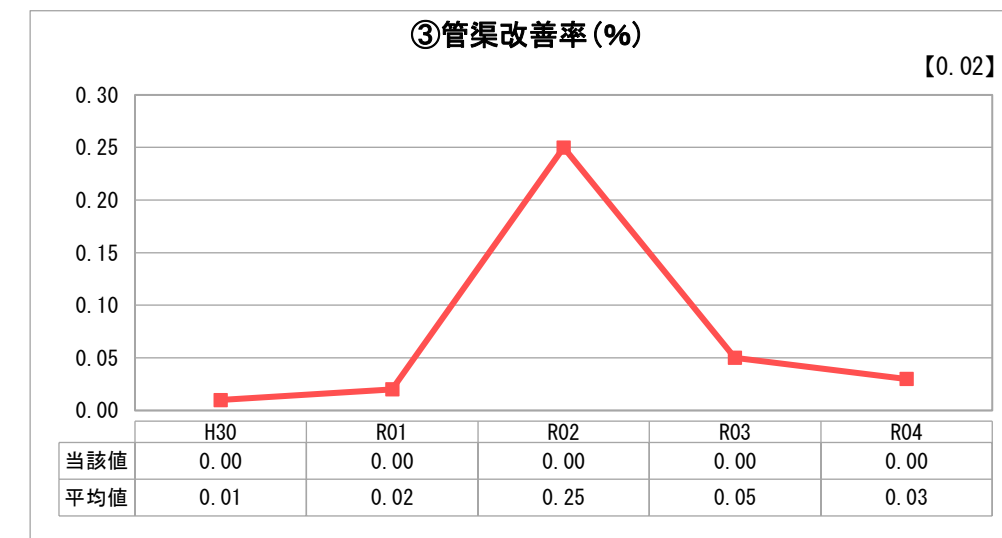
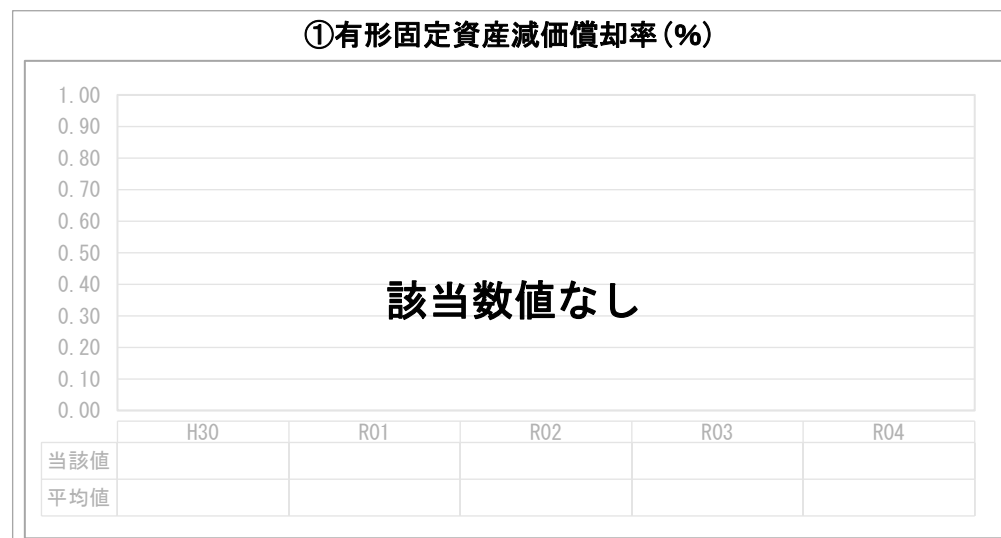
⑦施設利用率について  
類似団体と比較して高い数値となっている。使用人口は減少傾向にあるが、不明水の流入により水量が多いことが考えられる。

⑧水洗化率について  
90%を超え高い数値となっている。接続については個人の負担もあるため、伸び悩むことが予想されるが、100%を目指し、接続の推進を図っていく。

### 2. 老朽化の状況について

当町の農業集落排水処理施設は、9地区に分かれており、施設の供用開始年度は、平成5年から平成11年となっている。  
すべての施設において供用開始から20年以上が経過しているため、機械電気設備の耐用年数経過に伴い、修繕が増加しており、状況に応じ、計画的な更新を進めている。  
管渠については、現状、更新は行っていない。耐用年数である50年をめどに計画的な更新が必要である。

## 2. 老朽化の状況



## 全体総括

R3年度4月より料金改定を行い、およそ3割の値上げが行われたことで、使用料収入は増加したが、今後は、居住人口の減により、収入も減少することが考えられる。また、施設の老朽化が進んでおり、更新工事等、費用が増大していくと想定される。  
今後は「若狭町上下水道ビジョン」に基づき、施設の統廃合を行い、維持管理費用の削減を図り、それに合わせて、段階的な料金改定も検討していく。また、R5年度より公営企業会計を導入し健全な経営を図っていく。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。